



2021.7.10 第38回 東京地本定期大会 目黒七夕ビル

提出!!

東地申
第1号「JR東労組東京地本第38回定期大会発言」に基づく申し入れ
2021.9.2

東京地本は、7月10日に「第38回定期大会」を開催し、2021年度の運動方針等を満場一致で確認しました。

大会発言では、一年以上続くコロナ禍の終息が見通せない状況下で、今も感染の恐怖や不安を抱きつつも、現場では安全・安定輸送の確保や安心の提供に向けて奮闘している現実や、各種施策における課題などの発言がありました。また、昨今実施されている職場での施策説明については「施策の説明が一方通行」「質問しても答えてもらえない」など、トップダウンと言わざるを得ない姿勢に、組合員からは「ヒト起点の経営方針」や「安全が経営のトッププライオリティーが本当に位置づけられているのか」と、強い危機感が示されました。

私たちは、一人ひとりのエンゲージメントの向上と、組合員が誇りとやりがい、ならびに納得感をもって施策を進めるためにも、下記の内容で申し入れました。職場から出された意見に基づき、申し入れ内容の実現を目指します。

申し入れ内容

1. 各種施策の社員説明において、「質問に答えられない管理者」や「質問時間がない職場」があるという報告を多く受けているが、東京支社としての施策説明に対する考え方を示すこと。また、組合員・社員の不安を解消するために、管理者への指導を徹底すること。
2. 田端操車場駅構内および渋谷変電所のトラブルによる大規模輸送障害が発生しているが、同種事故の再発防止に向けて、命を守ることを最大の価値基軸とした安全第一の職場風土を構築すること。
3. 各地で線閉作業にまつわる重大事象が発生しているが、事象の共有と同種事故の再発防止に向けた対策を講じ、業務遂行上における関係係員の不安を解消すること。
4. 新型工事列車・キヤE195系が導入されているが、運転・傷害事故防止のための技術を確認することを目的に、東京支社・関係主管部が中心になり「設備・検修・運輸・パートナー会社」の各社員が、システムを超えて相互に意見交換ができる場を設けること。
5. 列車が駐車場の所定停止位置を行過ぎた場合の取り扱いについて、現業機関に周知ならびに訓練を徹底すること。
6. 多くの駅や技術・施設職場にAEDが設置されているが、運輸職場にもAEDを設置することで、社員やお客さまの不測の事態に速やかな対応が出来るようにすること。

建設的な議論で課題解決を目指します!!